

アクアコネクター

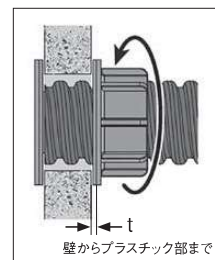
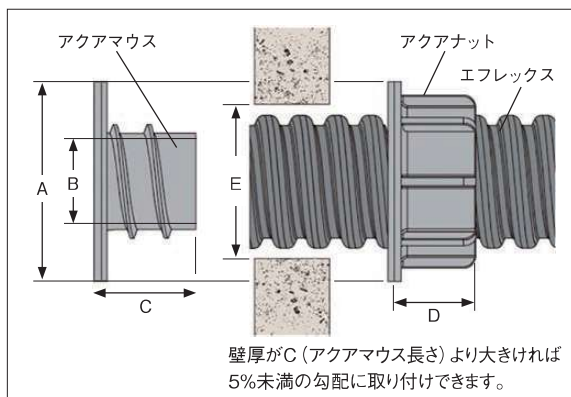
■ FOKC-□

モルタル・止水パテなどを使用せず手締めで、マンホールなどの壁面にエフレックスを固定できます。水膨張性不織布により高い水密性を持つ部品です。



アクアナット

アクアマウス



品番	標準価格 (円/セット)	箱入数 (セット/箱)	寸法(約mm)							隣り合う コアの 中心間距離*	t 締め込み 値	参考質量 (kg/個)
			A	B	C	D	E					
			外径	内径	長さ	長さ	適用 コア径	推奨 値				
FOKC-30	4,720	150	74	25	30	25	42～50	45	90以上	約6	0.09	
FOKC-40	5,090	100	89	36	40	33	58～65	60	105以上	約7	0.13	
FOKC-50	5,570	70	98	44	50	40	68～75	70	115以上	約7	0.16	
FOKC-65	6,540	50	123	59	63	52	89～96	90	135以上	約7	0.26	
FOKC-80	8,110	36	138	73	74	60	106～112	110	175以上	約7	0.34	
FOKC-100	8,960	16	182	92.5	88	73	135～141	135	200以上	約8	0.57	
FOKC-125	16,820	—	213	108.5	110	90	165～170	170	230以上	約7	0.96	
FOKC-150	18,760	—	241	136	129	105	197～200	200	260以上	約7	1.23	

※隣同士のサイズが異なる場合は、お問い合わせください。



■ 施工手順

アクアコネクターの場合



1 エフレックスに
アクアナットを
回しながらはめる



2 エフレックスを
ハンドホールの削孔に
差し込む



3 アクアマウスを
エフレックスに
回しながらはめる

従来品 (エポキシパテ使用) の場合



1 エポキシパテの基剤と
硬化剤を練り合わせる

所要時間
15分



2 挿入したエフレックスと
ハンドホールの隙
間をパテで埋める

所要時間
5分



3 内側も同様に
パテで埋める

所要時間
5分



4 内側にベルマウスを
取り付ける

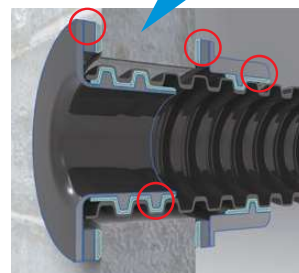
■特長

- 1 **抜群の作業性**
ねじ込むだけで取り付けできます。
再接続も可能です。
- 2 **即時埋め戻し可能**
パテを使用しないので、施工後すぐに埋め戻せます。
- 3 **工具不要**
締め付けは、手締めで充分です。
- 4 **防水性**
水膨張性不織布を用いているので、
高い止水性があります。
(弊社試験で水圧0.05MPa水漏れなし)
- 5 **壁厚の制限無し**
異なる壁厚でも、アクアナットの
回す回数で対応可能です。
- 6 **難燃性**
難燃エフレックスにも対応可能です。

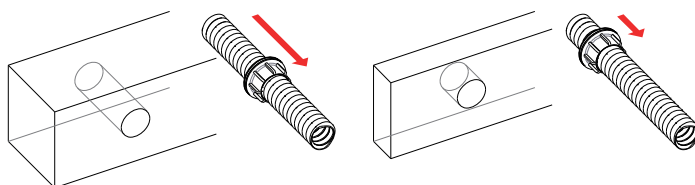
水膨張性不織布による
高い止水性！



ダブルで止水！



アクアナットを回す回数によって、制限なく
さまざまな壁厚に対応可能



- 4 アクアナットを壁面に
きつく接するまで
回しながら締め込む

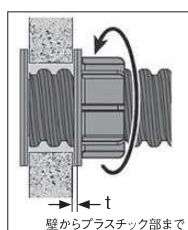
品 番	締め込み値t
FOKC-30	約6mm
FOKC-40～80	約7mm
FOKC-100	約8mm
FOKC-125、150	約7mm



約1分で施工完了



埋戻し



⚠ 注意事項

- ・多段配管を行う場合は、一段毎に接続、埋戻し、填圧を繰り返してください。
- ・高温多湿、直射日光の当たる場所での保管はお控えください。
- ・水膨張性不織布を使用しているため、使用直前まで袋から取り出さないでください。
- ・埋設後の再利用や、袋開封後に水膨張性不織布部に水分を含んだ製品の使用はできません。
- ・管やハンドホールの内部に大量の水が浸入してくる現場での使用はお控えください。
- ・袋開封前の状態で、周囲の温度変化により一時的に、袋内面に水滴がつくことがありますが、実用上問題ございません。ドライヤー等での加温、加熱により乾燥させずに、そのままご使用ください。
- ・アクアナットの締め込みは、手締めで行ってください。
- ・工具を使用しないでください。工具を使用すると製品が破損する恐れがあります。
- ・地盤沈下が想定される場所では使用しないでください。
- ・掘削溝は平滑にならして填圧してください。
- ・ハンドホール壁面付近の土砂填圧は十分に行ってください。
- ・ハンドホールなどの壁面付近では、エフレックスの曲げ配管は行わないでください。漏水や製品の破損が生じる恐れがあります。
- ・アクアコネクター接続後、アクアナットやエフレックスの上には乗らないでください。製品の破損が生じる恐れがあります。
- ・ハンドホールなどの削孔は、ノックアウト部とそれ以外の境目など、段差のある面に開けないでください。
- ・ハンドホールなどの削孔の寸法は、適用コア径範囲に従ってください。
- ・ハンドホールと接続する前に、エフレックスを整直してください。
- ・アクアナットの締込は、締め込み値に従ってください。
- ・埋め戻す際は、ハンドホール壁面とアクアコネクターの間に隙間が無いことを確認してから埋め戻してください。
- ・アクアナットを埋め戻す際は、周囲から砂をかけ、緩みが無いことを確認しながら、十分に填圧してください。



- ⑤ ハンドホールとベル
マウスの隙間もパテ
で埋める

所要時間
5分



約30分で施工完了